

| | | | | | | | |
|------|-------------------------|-----|-----|-----------------------------|----|-----|---|
| 教科名 | 家庭 | 科目名 | 手芸 | 学年 | 2年 | 単位数 | 2 |
| 準教科書 | 家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍) | | 副教材 | 生活学 Navi 資料+成分表 2023 (実教出版) | | | |

1 担当者からのメッセージ

この科目は、手芸製作を通して自分のアイデアや感性を形にする楽しさといった自分の世界観や表現力を広げ、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 学習の到達目標

手芸の種類や特徴および変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得し、手芸品を創造的に製作し、装飾に活用する能力や態度を養う。

- (1) 刺繍、縫い物、編み物、その他の手芸などについて実際に作品を見たり、触れたりして、手芸の技法や特徴を理解する。
- (2) 刺繍、縫い物、編み物、その他の手芸を実際に製作し、基礎的な技法を習得する。
- (3) 製作計画を立て、目的に応じた作品を製作する。
- (4) さまざまな手芸の特徴や課題を理解した上で、新たな活用法の提案を考える。

3 学習計画

| | | 単元名 (学習項目) | 学習内容 (ねらい) |
|----|----------|--------------------------|---|
| 前期 | 前期 中間 | ・フランス刺繍の特徴 や基本的なステップ | ・フランス刺繍の技法や特徴について、基礎的な知識について理解し、関連する技術を身に付ける。 ・作成した図案に適した技法を用いて制作することができる。 ・計画に基づき、期限を守って制作または作品を提出することができる。 |
| | 前期 期末 | ・日本の伝統文化である刺し子の特徴 や歴史 | ・刺し子の技法や特徴について、基礎的な知識について理解し、関連する技術を身に付ける。 ・刺し子の歴史や変遷を理解し、課題を発見しその解決に向けて考察することができる。 ・計画に基づき、期限を守って制作または作品を提出することができる。 |
| 後期 | 後期 中間 | 染色の種類と、その特徴 や技法 | ・染色の種類と技法を理解し、適切に染色することができる ・さまざまな天然素材を用いた染色について、それぞれの課題を発見し解決に向けて考察することができる。 ・計画に基づき、期限を守って制作または作品を提出することができる。 |
| | 学年末 | フェルトバッグ ファスナー付け | ・フェルト素材の特徴を理解し、適切に製作する。 ・フェルトを用いた小物の提案をすることができる。 ・計画に基づき、期限を守って制作または作品を提出することができる。 ・ファスナーの付け方を習得し、正しく縫い付け活用することができる。 ・ファスナーを用いた小物の提案をすることができる。 ・計画に基づき、期限を守って制作または作品を提出することができる。 |

4 観点別評価

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| ・手芸品の製作技術を総合的に身に付けている。 ・手芸の種類や特徴、変遷などに関する知識を身に付けている。 | ・服飾手芸についての基本的な知識を身に付け、より良い作品完成に向けて工夫し、その方法を選択することができる。 ・服飾手芸の充実向上を図るための実践的な技能の習得ができる。 | ・手芸の種類や特徴、変遷について興味関心を持ち、実習に主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。 |

5 評価方法

計70時間(50分授業)

出席状況、授業態度、定期考査、提出物(学習プリント・課題・作品)

知識・技能…35% 思考・判断・表現…35% 主体的に学習に取り組む態度…30%